

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2025年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月は、むつ市海と森ふれあい体験館でボードゲームとかまくらを楽しんでいただくイベントを開催した。また、地域おこし協力隊の活用が進んでいる兵庫県豊岡市の視察を行い、今後の活動への知見を得た。月末には東通村の地域おこし協力隊と合同の活動報告会を実施した。

私は今月をもって4年間の地域おこし協力隊の活動を終了し、新年度からはむつ市集落支援員として、引き続き地域に根差した活動を推進していく。

（主な活動）

◇3月15日（土）、16日（日） 大人のボードゲーム会&かまくら開放 Day

2月のスノー×ライトフェスで制作したすべり台の土台部分を掘って「かまくら」を作り、その中にテーブルやイスを置いて開放した。また、むつ☆かつの総合文化クラブの活動で実施しているボードゲームを大人にも楽しんでもいただける場を提供した。

2日合わせて26名が体験館を訪れ、かまくらの中でコーヒーを飲んだり、ボードゲームを楽しんだりしてもらった。



かまくら



ボードゲーム

◇3月18日（火）～20日（木） 兵庫県豊岡市 地域おこし協力隊の募集等に関する視察

過去10年間で着任した地域おこし協力隊の合計が約100人となる協力隊に関する事業の事例等を伺うため、2泊3日で兵庫県豊岡市を訪れ、市の協力隊担当者様などからお話を伺った。

豊岡市の移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」には、豊岡市への移住者である市民ライターの記事が掲載されており、日々の生活や地域住民との交流などを、現地の声として知ることができる。青森県では「あおり暮らし」というポータルサイトで生活や仕事などが紹介されているが、むつ市の移住に関する移住者目線での情報はまだまだ乏しいと感じた。今後、地域おこし協力隊と協力して、web サイト作りなどで情報発信をしていきたい。

このほか、山陰海岸ジオパークの見どころである玄武洞の見学や豊岡市立コウノトリ文化館などでお話を伺った。



玄武洞



コウノトリ文化館

◇3月25日（火） むつ市・東通村地域おこし協力隊活動報告会

本報告会は下北文化会館で、むつ市と東通村の地域おこし協力隊7名がこれまでの活動について発表し、当日は約60名の方々にお越しいただいた。私は4年間の地域おこし協力隊の活動を振り返り、何事も簡単に「できない」と判断するのではなく、できるために何とかするためにはどうすればいいのかを考えるようになったことや、地域活動において、熱意のあるリーダーと協力者との間のハブになるような人材が必要なことなどを発表した。

これまでの経験をもとに、来年度からは集落支援員として、これまで以上に地域の実在やニーズを意識した活動を実施していきたい。

